

青森県における森林環境譲与税の活用について（令和6年度）

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	357,874,000	94,701,000	452,575,000	100%	未執行額なし
譲与額（円）	357,874,000	94,701,000	452,575,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		主な事業内容
		うち	森林環境譲与税	
市町村支援	市町村の研修 アドバイザー等支援 人材の派遣	13,751,429	4,315,000	【森林経営管理制度推進事業】 推進員を2名林業関係団体に設置し、市町村に対する指導・助言を行うとともに、市町村担当者向けの基礎研修を開催
森林整備	森林整備の支援等	351,613,242	83,714,000	【松くい虫被害緊急対策事業】 松くい虫被害木等の上空探査や伐倒・くん蒸処理等を実施 【十和田ほ場管理等育種生産事業】 特定母樹、花粉症対策品種など造林用優良種苗を生産
人材育成	人材育成・担い手対策	38,519,089	12,086,000	【青い森林業アカデミー運営事業】 林業の基礎的な知識や技術の習得を支援し、地域林業の中核となる「人財」を育成する「青い森林業アカデミー」を運営
普及啓発	普及啓発の支援	1,502,369	471,000	【企業による青い森づくりサポート事業】 森づくり活動を行う企業に対して技術指導等を実施
木材利用	木材利用の推進	1,880,390	237,000	【県産材地産地消推進事業】 県産材の地産地消に対する意識を高めるため、SNS等による情報発信「県産材地産地消情報誌」による普及啓発等を実施
合計		407,266,519	100,823,000	

■今後の実施計画（令和7年度～）

①「A-wood」需要拡大総合対策事業

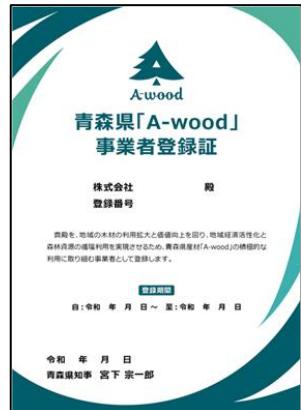
外材中心のマーケット構造を改革し、川上から川下までAll青森の木材「A-wood」のシェア拡大により県産材の安定需要を確保するため、「A-wood」ユーザーの育成を行い、県産材のイメージアップを図って公共建築物における利用を推進するほか、製材品の生産性向上と供給体制の整備を行う。

取組1 「A-wood（仮称）」需要拡大事業

- (1) 「A-wood」ユーザーの育成
- (2) 地域製材ネットワークの構築
- (3) 公共建築物における利用促進対策

取組2 物価高騰対応製材設備等導入緊急支援事業

昨今の物価高騰等に対応し、経営の継続・発展に取り組む製材事業者を支援するため、生産性向上が期待される製材設備・機械の導入に要する経費を補助



②青い森林業アカデミー機能強化対策事業

新規就業者の確保に向けて、青い森林業アカデミーの研修環境整備等の機能強化を行う。

取組1 青い森林業アカデミー将来構想の作成

- (1) 青い森林業アカデミー将来構想
(青い森林業アカデミーNext Vision)の作成
- (2) (仮称) 林業労働力確保対策協議会の設立

取組2 現場技術者指導体制の整備

若手指導者の育成 等

